

科目名	科学技術英語Ⅱ Scientific and Technical English II	科目コード	21341
-----	--	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・5年（プログラム2年）
担当教員	矢野 昌平（電気電子システム工学科）
区分・単位数	必履修・1単位
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義15，演習15，実験0，その他0】
教科書	電気電子回路(森北出版株式会社)、自作プリント
補助教材	Idioms in American Life (IAL)
参考書	電子辞書

【A. 科目の概要と関連性】

電気工学や電子工学の分野で仕事をする上において、他の工学分野同様に英語力は必要不可欠である。英語の入力である読解を科学技術英語Ⅰで、英語の出力である英文作成等を科学技術英語Ⅱでの目標としている。この授業では①英語の文法、用法、修飾関係を正しく理解し、②グループワークにおいて英語で議論を行い、③実験レポート等を英文で作成できる英語能力の習得を目指す。理解度の確認と改善の為に各授業開始時に授業計画を配布し、授業の流れを説明する。また授業終了5分前にはミニツツシートにより授業の振り返りをアンケート形式で実施する。

○関連する科目：電気電子理論Ⅰ・Ⅱ（2、3年次履修）、電気回路Ⅰ（3年次履修）、電気回路ⅡA、B（前年度履修）、科学技術英語Ⅰ（前年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
① 文法の基礎、英文読解力をつける。	25%	(D3), (D4)
② 科学技術の英語での文章表現を習得する。	25%	(D2), (D4)
③ 自分の意見を英語で相手に伝えることができる。	35%	(D3), (D4)
④ 英語の学術論文の概要を理解して、日本語で説明できる。	15%	(D4), (G1)

【C. 履修上の注意】

数学および英語の基礎が必要である。英語の基本文法、品詞、用法、修飾関係等これまで学んできた英語の文法を再度勉強しておくこと、グループワークにおいては先生役と生徒役にわかれて、配布プリントより会話、単語、問題を実施する。英語のみで質疑応答を行うので議論を進めるための英語表現を勉強しておくこと。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（80%）
- その他（20%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	備考
1	授業概要 Operational Amplifiers(教) 構文解析 / Lesson1(IAL)	分詞の基礎, 構文解析の手順
2	Connections and symbols(教) グループワーク英語表現 1 / Lesson2(IAL)	形容詞的用法, 動名詞の区別
3	Connections and symbols(教) グループワーク英語表現 2 / Lesson3(IAL)	カンマ, and の用法
4	Connections and symbols(教) グループワーク英語表現 3 / Lesson4(IAL)	修飾語、補語、叙述用法
5	Connections and symbols(教) グループワーク英語表現 4 / Review 1-4(IAL)	句、限定句、名詞句、前置詞句
6	Inverting Amplifiers(教) Lesson5(IAL)	助動詞、受動態
7	Inverting Amplifiers(教) Lesson6(IAL)	動名詞と不定詞
8	Inverting Amplifiers(教) Lesson7(IAL)	復習問題
9	Inverting Amplifiers(教) Lesson8(IAL)	関係代名詞、関係副詞
10	Inverting Amplifiers(教) Review 5-8 (IAL)	継続用法、カンマ区切り
11	Non-inverting Amplifiers(教) Lesson9(IAL)	不定詞の用法
12	Non-inverting Amplifiers(教) Lesson10(IAL)	接続詞、名詞句、コロソ
13	Non-inverting Amplifiers(教) Puzzle1-10(IAL)	形容詞的用法の復習
14	学術論文概要	読解、文法解析
—	前期末試験	試験時間 : 50 分
15	試験解説と発展授業	